

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	ドイツ語演習Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0004	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	制御・情報システム工学専攻	対象学年	専1		
開設期	後期	週時間数	1		
教科書/教材	Schritte international 3 Kursbuch + Arbeitsbuch (Hueber, 2006). 独和辞典				
担当教員	柴田 育子				
到達目標					
ドイツ語の読解力の向上 (独検2級、およびCEFR B1レベルの読解力の習得) ドイツ語の聞き取りの力の向上 (独検2級、およびCEFR B1レベルの聞き取り力の習得) ドイツ語の筆記力の向上 (独検2級、およびCEFR B12レベルの筆記力の習得) 会話力の向上 ドイツ語会話力の向上 (独検2級、およびCEFR B1レベルの会話力の習得)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	あと一歩(可)	もっと努力(不可)	
評価項目1	ドイツ語の中級レベルの文法事項を習得している。(独検2級レベル)	ドイツ語の中級レベルの文法事項をほぼ習得している。(独検2級レベル)	ドイツ語の中級レベルの文法事項をだいたい習得している。(独検2級レベル)	ドイツ語の中級レベルの文法事項を習得していない。(独検2級レベル)	
評価項目2	ドイツ語発音の規則にしたがい、イントネーションに配慮してよどみなくドイツ語を読むことができる。	ドイツ語発音の規則から多少逸脱することもあるが、イントネーションに配慮してドイツ語を読むことができる。	ドイツ語発音の規則から多少逸脱することもあるが、内容理解を妨げないレベルでドイツ語を読むことができる。	ドイツ語発音の規則からの逸脱が著しく、発しているドイツ語を聞き手が理解できない。	
評価項目3	ドイツ語でGER:B1 (中級) レベルの会話表現ができる。	ドイツ語でGER:B1 (中級) レベルの会話表現がほぼできる。	ドイツ語でGER:B1 (中級) レベルの会話表現がだいたいできる。	ドイツ語でGER:B1 (中級) レベルの会話表現がほとんどできない。	
評価項目4	ドイツ語でGER:B1 (中級) レベルの単語を習得している。	ドイツ語でGER:B1 (中級) レベルの単語をほぼ習得している。	ドイツ語でGER:B1 (中級) レベルの単語をだいたい習得している。	ドイツ語でGER:B1 (中級) レベルの単語をほとんど習得していない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	欧州言語共通参照枠A2+に対応したテキストdeutsch.com 2 を使い、ドイツ語の読解力、聴解力、筆記力、会話力の更なる向上を目指す。ドイツ語検定2級・欧州言語共通参照枠B1合格が可能となる総合的なドイツ語を身につける。本授業では、Generativ Schreiben (ジェネレイティブライティング) : ドイツ語演習Ⅰのクリエイティブライティングから更にレベルアップして、ジェネレイティブなドイツ語表現ができるようになる。自分でテーマを決め、そのテーマについて、高度なドイツ語で記事を執筆できるようにする。特に論理的な構成力を持った、書き言葉としてのドイツ語表現ができるようになる。本授業の最後には、受講者が自ら決めたテーマに沿って800語程度のドイツ語作文を提出する。				
授業の進め方・方法	4名のグループを作り、演習形式で授業を進める。授業内で提示された課題を、1)個人、2)ペア、3)グループで解いていく。ドイツ語の聴解力を高めるため、Deutsche Welleのtelenovla, Jojo sucht das Glück (1話5分程度) を毎回視聴する(ドイツ語Ⅲからの継続視聴)。ドイツ語の会話力を高めるため、年4回の口頭試験を実施する。ドイツ語と文化をより良く理解するため、年間4回程度、ドイツ人講師を招いてProjektunterrichtを実施する。				
注意点	ドイツ語Ⅱ・Ⅲからの継続受講を基本とする。ドイツ語Ⅱ・Ⅲで習得した中級レベルのドイツ語の文法事項、CEFR A2レベルの語彙力を習得していることが必要である。独検2級、およびGER:B1の学習内容レベルの授業を行う。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Lektion 4 Arbeitswelt Folge 4: Glück muss der Menschen haben!	仕事・職業に関する語彙を増やす(目標50語)。ドイツ語の再帰表現について学ぶ。再帰表現を使って文章を作成することができる。	
		2週	Lektion 4 Arbeitswelt Folge 4: Glück muss der Menschen haben!	接続詞wennを使った表現を学ぶ。Wennを使った文章を実際に作ってみる(目標10文)。	
		3週	Lektion 4 Arbeitswelt Folge 4: Glück muss der Menschen haben!	定冠詞類・所有冠詞類の活用について理解し、実際に文章を作って表現することができる。(ドイツ語表現力の向上)	
		4週	Lektion 4 Arbeitswelt Folge 4: Glück muss der Menschen haben!	Telefongespräche am Arbeitsplatz に関するリスニング問題を解く。その後、その場面での会話をシミュレーションしてみる。Partnerarbeit: (ドイツ語会話力の向上)	
		5週	Lektion 5. Sport und Fitness Folge 5: Übung macht den Meiser!	Sport, Sportarten, Gesundheitに関する語彙を増やす(目標50語)。ドイツでの買い物の仕方について学ぶ(Landeskunde)。	
		6週	Lektion 5. Sport und Fitness Folge 5: Übung macht den Meiser!	助動詞の過去形の活用の復習、dass, weil を使った副文の復習。ドイツ語の語順の特性について考える。	
		7週	Lektion 5. Sport und Fitness Folge 5: Übung macht den Meiser!	動詞+前置詞のFeste Verbindungenのストックを増やす(目標60語)。動詞+前置詞を使って文章を作り、表現することができる。(ドイツ語表現力の向上)	
		8週	Lektion 5. Sport und Fitness Folge 5: Übung macht den Meiser!	Sportvereinについての情報を入手し、登録する。Sportvereinに電話して登録する場面をシミュレーションしてみる。Partnerarbeit: (ドイツ語会話力の向上)	
	4thQ	9週	Lektion 6 Schule und Ausbildung Folge 6: Von nichts kommt nichts.	Schule und Ausbildungに関する語彙を増やす(目標50語)。ドイツの教育システムに関する文章を読み、その内容を理解する。(ドイツ語読解力の向上)	
		10週	Lektion 6 Schule und Ausbildung Folge 6: Von nichts kommt nichts.	gefallen+3格を使った表現をマスターする。3格を使った文章表現についてのストックを増やす(目標20語)。3格を取る動詞について学ぶ。	

	11週	Lektion 6 Schule und Ausbildung Folge 6: Von nichts kommt nichts.	比較級・最上級を使った表現について学ぶ。比較級・最上級を使って、実際に文章を作ってみる。(ドイツ語表現力の向上)
	12週	Lektion 6 Schule und Ausbildung Folge 6: Von nichts kommt nichts.	接続法Ⅱ式について学習する。接続法Ⅱ式を使った文章を実際に作ってみる(目標10文)。
	13週	Lektion 7 Feste und Geschenke Folge 7: Das kannst du laut sagen.	Feste (祝い事) やGeschenke (プレゼント) に関する語彙を増やす(目標50語)。ドイツの祝日や休暇について学び、日本との違いについてドイツ語の文章で表現できる。(ドイツ語筆記力の向上)
	14週	Lektion 7 Feste und Geschenke Folge 7: Das kannst du laut sagen.	ドイツのHochzeit (結婚式) についての文章を読み、日本との習慣の違いについて考え、ドイツ語の文章で表現できる。(ドイツ語筆記力の向上)
	15週	Lektion 7 Feste und Geschenke Folge 7: Das kannst du laut sagen.	ドイツ語の検定試験に合格し、友達がそのお祝いパーティを開催する場面について、会話をシミュレーションしてみる。Partnerarbeit: (ドイツ語会話力の向上)
	16週	期末試験	これまでに学習した内容の到達度を確認する。

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	0	0	20	0	100
基礎的能力	60	20	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0